

平成28年2月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,683,867	185,796	2,185,275	81.4%	498,592		
1. 営業収益	2,295,737	182,176	2,141,135	93.3%	154,602		
1. 給水収益	2,260,332	181,618	2,111,933	93.4%	148,399		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	35,405	557	29,202	82.5%	6,203		
2. 営業外収益	386,718	3,621	43,017	11.1%	343,701		
3. 特別利益	1,412		1,123	79.5%	289		
9. 水道事業費用	2,380,313	113,649	938,135	39.4%	1,442,178	1,053,059	44.2%
1. 営業費用	2,109,711	59,272	759,411	36.0%	1,350,300	874,232	41.4%
1. 原水及び浄水費	405,985	24,219	273,523	67.4%	132,462	307,547	75.8%
2. 配水費	286,443	10,602	156,634	54.7%	129,809	184,135	64.3%
3. 給水費	101,623	3,778	90,027	88.6%	11,596	93,419	91.9%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,075	12,902	134,748	83.1%	27,327	159,122	98.2%
6. 総係費	149,158	7,771	104,406	70.0%	44,752	129,936	87.1%
8. 減価償却費	974,327				974,327		
9. 資産減耗費	30,100		73	0.2%	30,027	73	0.2%
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	248,879	54,355	178,303	71.6%	70,576	178,303	71.6%
3. 特別損失	1,723	22	421	24.4%	1,302	523	30.4%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入	2,616,378	2,203	19,621	0.7%	2,596,757		
1. 企業債	1,336,600				1,336,600		
2. 負担金・補償金	9,759		6,834	70.0%	2,925		
3. 補助金	526,849				526,849		
4. 出資金	728,104				728,104		
5. 加入金	15,066	2,203	12,787	84.9%	2,279		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	3,779,714	223,519	726,306	19.2%	3,053,408	3,461,826	91.6%
1. 建設改良費	3,147,607	54,956	244,312	7.8%	2,903,295	2,979,832	94.7%
1. 取水施設整備費	761,076		4,590	0.6%	756,486	759,618	99.8%
2. 導水施設整備費	188,460	2,052	2,052	1.1%	186,408	188,460	100.0%
3. 浄水施設整備費	76,688	1,026	1,026	1.3%	75,662	73,894	96.4%
4. 配給水施設整備費	2,118,359	51,878	234,014	11.0%	1,884,345	1,955,231	92.3%
5. 管理施設整備費							
6. 消防設備整備費	3,024		2,630	87.0%	394	2,630	87.0%
2. 企業債償還金	632,107	168,563	481,994	76.3%	150,113	481,994	76.3%
12. たな卸し資産購入限度額	61,481	1,320	28,501	46.4%	32,980	50,287	81.8%
①有収水量	8,069,200	629,729	7,423,256	92.0%	645,944		
②供給単価	280.12	288.41	284.50	101.6%	△ 4.38		
③給水原価	258.40	180.44	126.32	48.9%	132.08		
人件費	235,240	16,061	215,878	91.8%	19,362		
1. 収益的収支	203,332	13,980	186,811	91.9%	16,521		
1. 職員給与費	202,318	13,817	186,338	92.1%	15,980		
2. 特別職(報酬、賃金等)	1,014	163	473	46.6%	541		
2. 資本的収支	31,908	2,081	29,067	91.1%	2,841		
* 職員給与費	234,226	15,898	215,405	92.0%	18,821		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.0%	7.6%	8.8%				
2. 全職員	10.4%	8.8%	10.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	40,591,166	40,817,251	226,085	
*減価償却累計額	17,426,310	17,426,294	△ 17	
B. 流動資産	3,022,987	3,448,537	425,550	
1. 現金預金	2,712,061	2,181,422	△ 530,639	
2. 未収金	276,762	205,766	△ 70,996	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	32,636	△ 1,337	
5. 前払費用・前払金	190	949,780	949,590	工事前払金等
6. その他		78,932	78,932	仮払消費税
D. 水道事業費用		897,714	897,714	
1. 営業費用		719,000	719,000	
2. 営業外費用		178,303	178,303	
3. 特別損失		411	411	
1. 借方合計=A+B+C+D	46,840,757	48,390,106	2,498,939	
E. 固定負債	10,686,104	10,686,104		
1. 企業債	10,368,059	10,368,059		
2. 引当金	318,045	318,045		
F. 流動負債	1,098,533	602,496	△ 496,038	
1. 企業債	632,104	150,110	△ 481,994	H27年度償還元金
2. 未払金	394,775	239,985	△ 154,790	未払消費税含む
3. 前受金	77	67	△ 10	
4. 引当金	69,681	50,478	△ 19,203	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定	1,197		△ 1,197	
6. その他	699	161,855	161,156	
うち仮受消費税		160,431	160,431	
G. 繰延収益	8,983,550	9,001,984	18,434	
1. 長期前受金	8,983,550	9,001,984	18,434	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,226,604	3,226,604		
H. 資本金	6,026,688	8,624,057	2,597,369	
1. 自己資本金	6,026,688	8,624,057	2,597,369	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	2,619,071	22,900	△ 2,596,172	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	2,596,172		△ 2,596,172	
K. 水道事業収益		2,025,773	2,025,773	
1. 営業収益		1,984,695	1,984,695	
2. 営業外収益		40,029	40,029	
3. 特別利益		1,049	1,049	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	46,840,757	48,390,106	1,549,349	

a. 供給単価(円、銭)	263.43	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	120.88	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	247.91	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	76.33%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	85.16%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	572.38%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	362.06%	=現金預金÷流動負債	

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成28年 2 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計 画 累 計	D 前年度同月累計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,257	336,040	336,100	333,878	△ 60	2,162
2 調定水量	m ³	625,457	7,376,430	7,388,600	7,406,085	△ 12,170	△ 29,655
3 調定料金(税抜)	円	168,154,766	1,955,428,936	1,928,500,000	1,948,455,789	26,928,936	6,973,147
4 口振加入件数	件	25,227	279,900	-	279,871	-	29

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	82,480	-	83,104	△ 624
6 給水件数	件	30,192	-	30,099	93
7 開栓処理件数	件	186	2,417	2,624	△ 207
8 閉栓処理件数	件	149	2,482	2,546	△ 64
9 給水工事設計審査	件	63	634	781	△ 147
10 給水工事竣工検査	件	68	787	947	△ 160
11 経年メーター交換	件	1,069	2,886	4,282	△ 1,396
12 メーター口径変更	件	7	29	55	△ 26
13 月末停止件数	件	4	77	118	△ 41

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	193,749,580 円	90.83 %	190,076,857 円	90.95 %
15 過年度分	4,387,296 円	97.64 %	4,062,326 円	97.88 %
16 全 体 (計)	198,136,876 円	-	194,139,183 円	-

4 給水装置工事指定業者(2月期異動無し)

追町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	7	106	114	220

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	109/115	1/1	64/70	1/1	16/16	0/0
契約締結						
一般	23	0	23	0	0	0
指名	61	0	32	0	13	0
随契	25	2	9	1	3	0
合計	109	2	64	1	16	0

※入札中止 当月 0件:累計1件/入札不調 当月 0件:累計 6件/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 1件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	27	6	工事 6 件
中間検査	25	9	工事 9 件
合 計	52	15	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	2日	2月期 事業打合せ等
事業調整会議	3日	第 12 回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
経営分析会議	22日	1月期 経営概況、残高試算表、月報、監査復命
水道事業連絡会議・料金徴収等管理業務委託会議	10日	第 11 回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	9日	第 11 回 行事計画、日程調整等
水道プースター会議	17日	第 11 回 平成 28 年度当初予算について
給水拠点設置訓練	18日	第 11 回 石越総合支所
例月出納検査	24日	1月期 月例監査
指名委員会	9・23日	第 31 回・第 32 回
入札	12日	1件
緊急メールの発出	-日	漏水 11

特 記 事 項

1. 2月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は 181,618 千円(税込)で、1月期に比べて 5,544 千円の減で、予算執行率(累計)は 93.4%(前年度 92.1%)、対前年同月比(税抜)では 4,161 千円の増となっています。手数料収益が 557 千円、営業外収益は事務手数料等で 3,621 千円となっています。

当期の営業費用は 59,272 千円の執行で、累計額は 759,411 千円、予算執行率(累計)は 36.0%(前年度 36.5%)となっております。営業外費用では、企業債利息等 54,355 千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、水道加入金が 2,203 千円、累計で 19,612 千円、予算執行率(累計)では 0.7%(前年度 24.4%)となっております。

支出は、浄水施設整備費で 1,026 千円、配給水施設整備費で 51,878 千円、企業債償還金で 168,563 千円、累計で 724,254 千円を執行し予算執行率(累計)は 19.2%(前年度 50.5%)となっております。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に 1,320 千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 定期議会の議案について市長・副市長と打合せ

2月5日(金)に2月定期議会の議案である、「平成27年度登米市水道事業会計補正予算(第3号)」と「平成28年度登米市水道事業会計予算」について、市長及び副市長に説明を行いました。

(2) 議会定例会2月定期議会が開会

平成28年度登米市議会定例会2月定期議会が2月4日(木)から3月9日(水)までの日程で開会されました。水道事業所では、「平成27年度登米市水道事業会計補正予算(第3号)」と「平成28年度登米市水道事業会計予算」の2議案を提案しました。

補正予算の概要は、浄水施設整備事業1,400万円、配給水施設整備事業2億7,734万円の減額、消費税還付金の減額と債務負担行為として追加3件補正、企業債の減額として4件補正、職員給与費387万円を増額し、2月26日に議決しました。

(3) 市長・副市長による主要建設改良事業視察

2月8日(月)に新田配水池と下り松ポンプ場の建設工事現場において、市長及び副市長に進捗状況の確認を受けました。

新田配水池については完成に向けて状況を、下り松ポンプ場では地階部の築造状況を担当職員から説明を受けました。今後も進捗状況に応じて視察を実施して行くことにします。



市長・副市長の視察状況

(4) 総務企画常任委員会で議会付議案件を説明

2月8日(月)に総務企画常任委員会が開催されました。調査内容は2月定期議会への付議案件のうち補正予算についてでした。各委員からは、減額補正の理由や水安全計画についての質問がありました。また、主要事業の進捗状況については、下り松ポンプ場の工事が順調に進捗しているとともに、新田配水池が予定どおり4月1日に供用を開始し、竣工式を6月1日に予定していることも報告しました。

(5) 定期監査

2月10日(水)に定期監査(事務監査)が、実施されました。

公印の使用と台帳管理の不整合については登米市水道事業公印規程に基づいて行うこと、下り松ポンプ場は平成29年度までの大型事業であり施工監理をしっかりとすること、安全で安心を第一に水づくりをお願いしたいとの講評を頂きました。

平成28年 2月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	771,565	9,165,544	9,201,270	9,382,771	-36,726	-218,227
総配水量	737,841	8,716,740	8,846,490	8,908,045	-129,750	-191,305
1 有効水量	692,260	8,010,704	7,994,510	8,139,546	16,194	-128,842
(1)有収水量	629,729	7,423,256	7,434,800	7,455,973	-11,544	-32,717
(2)無収水量	62,531	587,448	559,710	683,573	27,738	-96,125
2 無効水量	45,581	706,036	851,980	768,499	-145,944	-62,463
(1)漏水量	44,469	697,373	844,000	760,345	-146,627	-62,972
(2)その他無効水量	1,112	8,663	7,980	8,154	683	509
3 有収率	85.35	85.16	84.04	83.70	1.12	1.46

※当月期の最大配水量は、16日(火)【27,096m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	3	761,076	4	755,028	1	4,590	1,458	99.8%
イ 導水施設整備事業	1	188,460	1	188,460	0	0	0	100%
ウ 浄水施設整備事業	14	76,688	6	72,868	1	1,026	2,794	96.4%
エ 配給水施設整備事業	94	2,118,359	41	1,721,217	34	234,014	163,128	92.3%

*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人件費)の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の条件 遊離残留塩素 0.4 mg/L 以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 6)	(測定戸数: 2)	(測定戸数: 1)
平均	0.57	0.43	0.47	0.58	0.47
最低	0.53	0.28	0.34	0.43	0.34
最高	0.61	0.60	0.70	0.72	0.52

◎登米水道の放射性物質測定結果(検出されませんでした)

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H28.2.18	<0.4	<0.5	米谷水系浄水場	H28.2.18	<0.4	<0.5
石越浄水場	H28.2.19	<0.5	<0.5	楼台水系浄水場	H28.2.18	<0.5	<0.5
大萱沢浄水場	H28.2.19	<0.5	<0.5	合ノ木浄水場	H28.2.18	<0.5	<0.6
米川水系浄水場	H28.2.18	<0.5	<0.5	大綱木浄水場	H28.2.18	<0.5	<0.5
錦織水系浄水場	H28.2.18	<0.4	<0.5	—	—	—	—

特 記 事 項

1 迫町森地内の1号線(φ600)漏水

16日(火)午前10時30分、迫町森上柳待井地内の1号線(D C I P φ 6 0 0 の基幹管路)で漏水が発生しました。水道始業所災害要綱に基づき災害対策本部を設置し、継手からの漏水を想定すると共に、修理用部材・人員を手配し、復旧計画に基づいて、午後10時からバルブ操作、掘削作業を行い、17日(水)午前1時頃に漏水場所を特定しました。その場所は、昭和58年12月に継手から漏水し、カバージョイントを被せて修理した箇所、東日本大震災などの揺れにより押し輪が緩んで漏水したと考えられ、そこから水が吹き出していました。ボルトを締め直したところ、午前2時20分に漏水が止まりました。漏水状況によっては、長時間の作業も予定されましたが、断水もなく応急修理工事は午前6時30分に終了し、災害対策本部を解散しました。



1号線漏水修理工事

2 第5回田瀬ダム水質検討会が開催される

4日(木)、盛岡市を会場に、東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所主催の第5回田瀬ダム水質検討会が開催され菊池課長が出席しました。

田瀬ダムではアオコ発生抑制のため曝気装置の運転期間を6月から10月まで延長し経過観察を続けた結果アオコの抑制に効果があるとの報告を受けました。平成28年度には仮設の曝気装置を1台増やし、引き続き検証していくことになりました。今後も流域関係団体間での情報を共有化することを確認し、次回は平成28年12月開催することで閉会しました(ただしカビ臭が発生した場合等は緊急に検討会を開催する)。

3 工場立会検査を実施

(1)18日(木)から19日(金)、埼玉県幸手市にある前澤工業(株)埼玉製造所において、米谷第2配水池緊急遮断弁設置工事に係る遮断弁の製品検査を行いました。合格を確認しました。

(2)25日(木)から26日(金)に、名古屋市にある三菱電機(株)名古屋製作所において、下り松2号取水ポンプ整備工事に係る製品検査を行いました。ポンプ、水中モーターの分解整備の完了を確認しました。また、本ポンプは下り松取水塔で稼働中のポンプが故障した際には、交換取り付けができるように引き続き保管する予定です。

4 浄水施設等・配水施設等包括委託の準備

4月からの浄水施設等管理運営業務委託に新たに水質検査が含まれることから、受託者の水質担当者へ実地研修が行われています。研修は1カ月ずつの3段階方式で計画され、2月中旬からは水質検査委託の先進地、群馬県太田市水道部へ出向いての水質検査の概要や基礎、法令等についての研修が行われました。また、配水施設等維持管理業務委託では、水量分析の事務や埋設物の照会事務、給水車出動業務など実地研修を続け4月の業務開始に移行となります。

5 平成28年2月の漏水調査結果について

2月末の漏水調査の結果110件98.949m³/h(累計)の漏水を発見しています。

漏水調査結果

施設	件数	漏水量(m ³ /h)
配水管	38	62.180
付属施設	7	1.19
給水管	65	35.579
計	110	98.949

6 地震発生状況

5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。